

「学校教育のDX推進に向けた有識者会議」の設置について

現状・課題

- 都立学校では、生成AIを学習や校務に積極的に活用しており、その取組の蓄積を踏まえ、今後、**生成AIの活用を前提**に、学習・校務のあり方を変革していく必要
- 都立高校での「新たな教育のスタイル」の確立に向けて、今後、**次世代のデジタル基盤を構築**し、学び方や教え方を改革して、自立した学習者を育成していく必要
- 公立学校では、システムの導入により校務の効率化を進めており、今後、**システム間のデータ連携や基幹システムの共通化**に取り組み、教員の働き方を改革していく必要

計画改定の必要性

- 令和6年3月に「東京都学校教育情報化推進計画」を公表(計画期間:令和6～10年度)
- 近年のAI技術の進展や「新たな教育のスタイル」を踏まえ、新たな5か年計画(令和9～13年度)として改定
- ※国も、同計画(計画期間:令和4～9年度)を3年経過後の令和7年度に見直し

学校現場におけるより一層の「DX」の推進に向け、有識者会議を設置

会議の概要

- 1 設置目的
 - 計画改定にあたり、DXの観点から「学び方」「教え方」「働き方」の改革に向けた重要テーマについて議論
 - 幅広いデジタル関連施策を体系的に計画に位置づけるための意見を聴取(現行計画には、約90施策が掲載)
- 2 重要テーマ
 - AI時代に求められる資質・能力と学び方のあり方
 - 「新たな教育のスタイル」を踏まえた学習・評価データの利活用のあり方
 - 教職員の働き方を支える校務DX環境のあり方
- 3 開催予定
 - 第1回会議を8月6日(木)に実施し、年4回程度開催。年度内に提言を実施予定